

国指定

所在地：味間奥

もくぞうあみだによらいざぞう

木造阿弥陀如来坐像

来迎印^{らいごういん}を結ぶ阿弥陀如来坐像
 で、大きな肉髻^{にっけい}に大ぶりの螺髪^{らぼつ}
 をもつ。面相^{めんそう}やや厳しく、腹部
 へかかる衣の皺^{しわ}が深く誇張され
 て彫られるなど古様を示す部分
 もあるが、裳裾^{しんこ}は浅く軽やかで、
 また胸部や腹部に量感がなく、
 平安時代中期の造像の流れを汲
 むものの制作時期は後期に入っ
 た頃と見られる。

この像は漆箔^{しつぱく}が施され中央の
 影響を受けているように感じら
 れるが、頭部や衣の表現は丹波
 地方に残る平安時代の薬師如来
 像とも近似しており、当地方の
 特色を備えている。

大国寺所在。

像高89cm。

